

片瀬江ノ島駅駅前広場の整備について

片瀬江ノ島駅駅前広場の整備については、平成29年6月藤沢市議会定例会において取組方針を報告しているところですが、今回はこれまで検討してきた整備計画を報告するものです。

なお、詳細な計画については、今後、地域住民や関係団体等から意見を伺うとともに、小田急電鉄(株)と協力・連携し進めます。

1 住民・関係団体等との意見交換について

地域住民の意見等の把握については、片瀬海岸2丁目町内会、西浜町内会、スバナ通り町内会を対象に昨年9月から計4回の説明会を開催しています。そのほかにも、地域の方や関係団体等との意見交換を行っています。

地域住民の意見・要望としては、生活上影響する既存駅前広場の車道を廃止した場合の懸念や周辺道路の交通安全対策を中心に頂いており、そのほかとして、車道廃止に対する賛否、車道を廃止した場合の駅前の車両転回場所の確保、津波避難施設の整備、広場デザインの早期提示等の意見・要望を頂いています。

また藤沢商工会議所等の関係団体からは、おもてなし感のある空間の整備、わかりやすいサインの整備などの意見・要望を頂いています。

2 駅前広場等の整備について

(1) 基本的な考え方

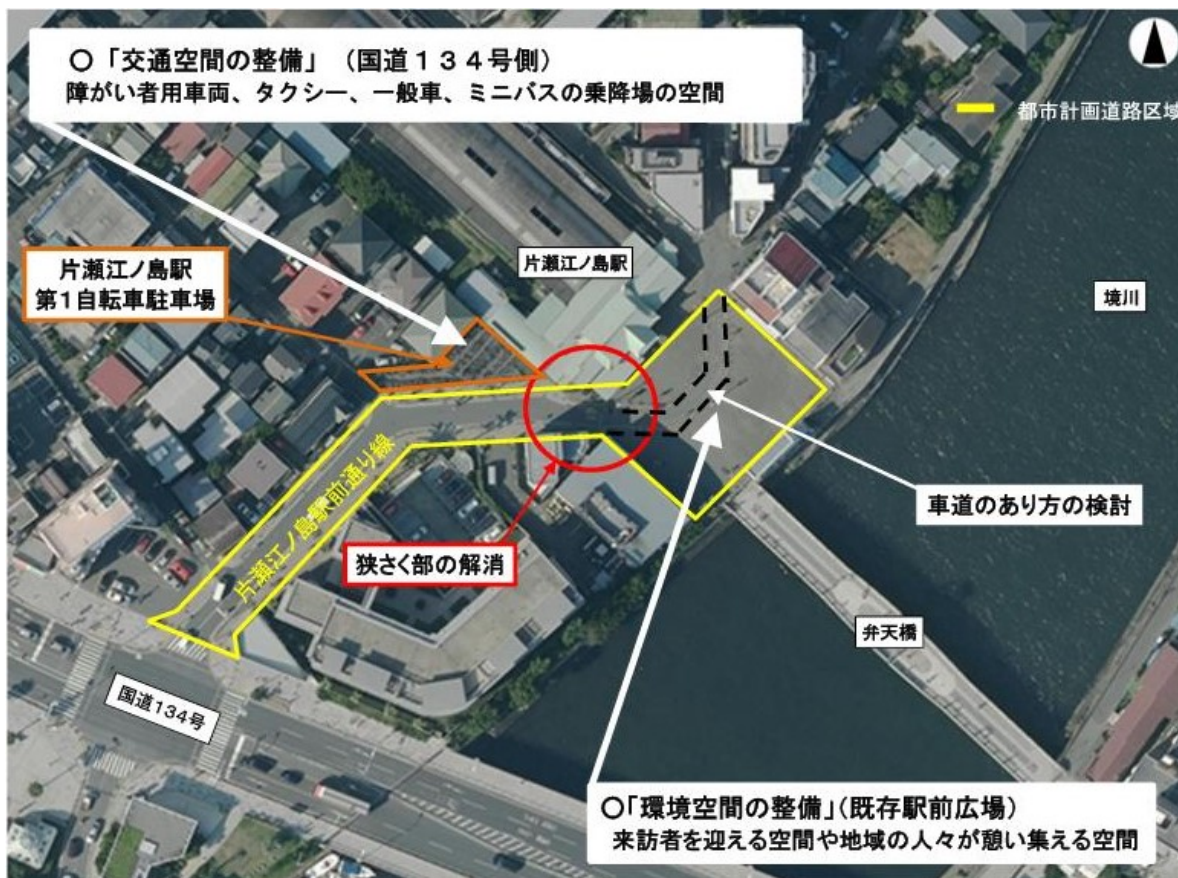
本事業は、片瀬江ノ島駅周辺を片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい駅前広場とするために、「交通空間」と「環境空間」を整備するものです。

「交通空間」は、片瀬江ノ島駅第1自転車駐車場（以下「駐輪場」という。）周辺において、新たに車両の乗降場を整備するもので、「環境空間」は、既存駅前広場を来訪者を迎える空間や地域の人々が憩い集える場として修景整備を行うものです。

環境空間の整備にあたり、既存駅前広場の車道は、歩行者と車両の動線が交錯し危険であることから、歩行者の安全を考え廃止します。あわせて、車道廃止に伴う周辺道路の交通安全対策を実施します。

なお、緊急車両については通行可能なつくりとします。

基本的な考え方



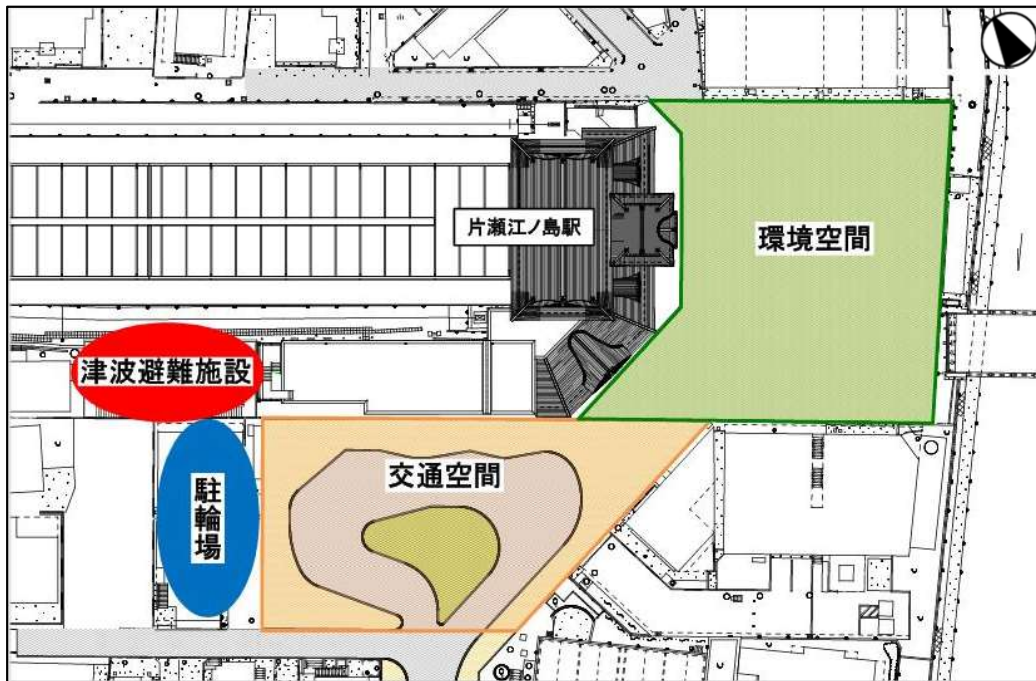
(2) 交通空間について

① 将来計画

交通空間については、現在の駐輪場周辺の用地を取得し、障がい者用車両、タクシー、一般車、ミニバスが接車できる空間を整備します。なお、移転となる駐輪場については、交通空間の西側に整備します。

また、地域住民から要望を受けている津波避難施設については、新たに整備する駐輪場北側の小田急電鉄株の敷地内に整備する方向で協議・調整しています。

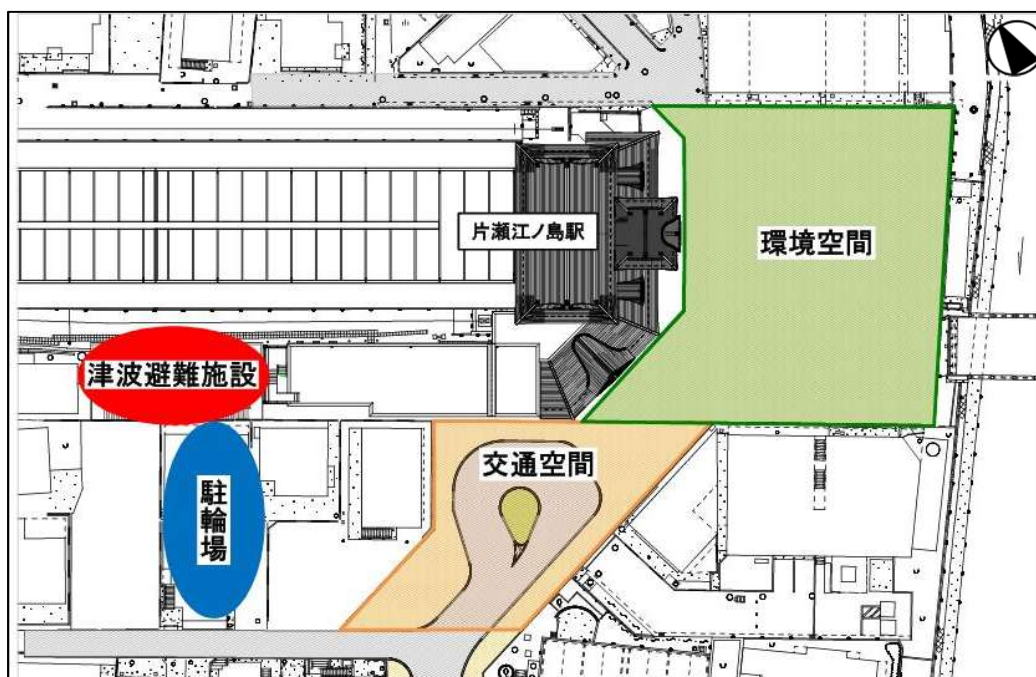
将来計画



② 暫定計画

交通空間の整備については用地取得に時間を要すことから、東京2020大会では、現在の駐輪場用地を利用し、乗用車1台分の接車が可能な暫定整備を行います。

暫定計画

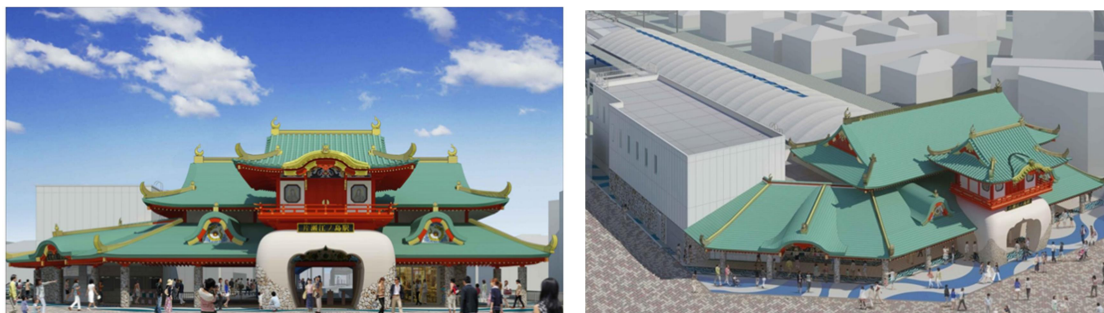


(3) 環境空間について

① 整備の考え方

環境空間については、歩行者の安全を確保するとともに、広場の市民利用を考慮した中で、地域住民や関係団体等の意見・要望を伺いながら、舗装のデザインや照明、植栽などについて検討し整備に取り組めます。

(参考) 建替え後の片瀬江ノ島駅イメージ



② 北側の車両転回について

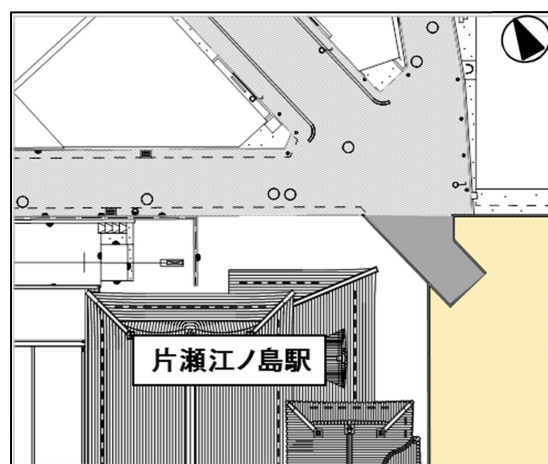
駅前広場の車道廃止後、駅の北側に進入してくる車両については、西側の線路沿いの道路へ迂回させる計画としており、線路沿いの道路については、安全性を高めるため一方通行化を進めます。

なお、一方通行化に向けた地元調整及び警察協議が整うまでの期間は、駅前広場に車両の待避所兼折り返し場所を設け対応します。

迂回の考え方



待避所兼折り返し場所



(4) 周辺道路の交通安全対策について

駅前広場の車道廃止にあわせて、周辺道路の安全性向上を目的に交通安全対策を実施します。また、以前から地域要望が強い市道片瀬西浜橋通り線の踏切改良を実施します。

① 周辺道路の交通安全対策（ゾーン30、注意看板等）

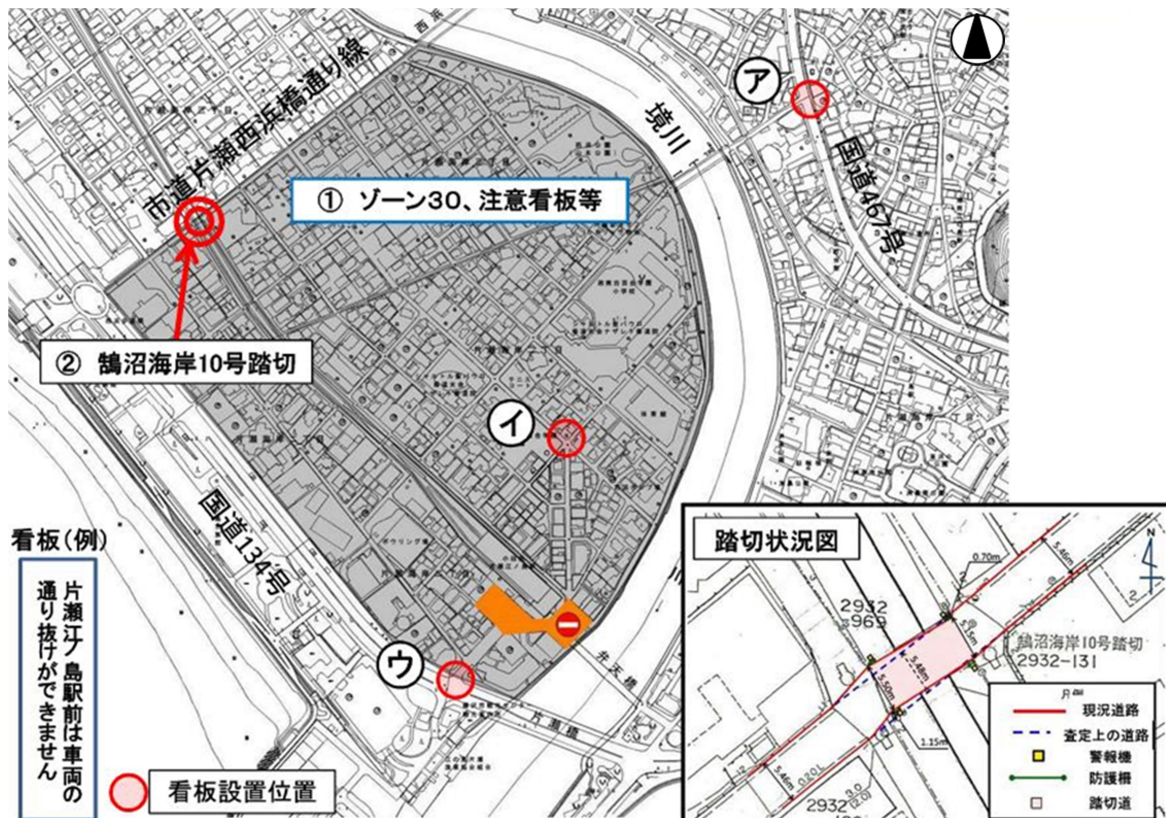
周辺道路の交通安全対策として、ゾーン30の交通規制を検討するとともに、速度抑制策として、カラー舗装やイメージハンプ、狭さく等の設置について、地域と共に調整を図りながら進めます。

また、地区外車両の誤進入を防止するため、駅前広場が通り抜けできないという内容の注意看板を設置します。設置場所は、国道467号と国道134号から地区に入る交差点㉞㉞及び、駅北側の五差路交差点㉟で計画しています。

② 片瀬西浜橋通り線の踏切改良（鵜沼海岸10号踏切）

片瀬西浜橋通り線にある小田急江ノ島線の「鵜沼海岸10号踏切」は、道路と踏切にずれが生じていることから、車両の円滑なすれ違いができない状況となっており、歩行者・車両共に危険性の高い場所となっています。この踏切改良については、周辺道路の交通安全対策として本事業で対応します。

周辺道路の交通安全対策



3 今後のスケジュールについて

駅前広場の暫定整備については、東京2020大会の開幕前の平成32年6月の完成を目指し取組めます。

項目	年度	平成30年度		平成31年度				平成32年度以降			
		10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
事業内容	駅前広場	基本設計・詳細設計		駅前広場整備工事(駐輪場含む)				将来計画に向けた取組			
	交通安全対策	踏切改良調査設計		踏切改良工事				周辺道路の安全対策			
		駅務棟建設		竜宮棟建設				外構			

※1 現時点での想定スケジュールです。

※2 津波避難施設については協議中です。

以上

(事務担当 計画建築部 江の島地区周辺整備担当)